

## 参加呼びかけ

- ★市民キャビネット災害支援部会
- ★市民航空災害支援センター
- ★全日本救助犬団体協議会
- ★市民救助隊(CFR)
- ★緊急医療チーム
- ★医療介護施設
- ★炊き出し支援団体
- ★コミュニティFM局
- ★NPO・市民団体
- ★大学・研究機関
- ★労働組合・生協
- ★企業・団体
- ★東北地方支援団体
- ★関西地方支援団体

※各参加団体がアメーバ状に広がっていく。

# 国土交通省「広域的地域間共助」構築 協働型災害訓練(ICS、DIG活用)

主体 杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会  
(杉戸町・富岡町・川内村・NPO埼玉ネット・すぎとSOHOクラブ)  
災害支援出動は行政との協働を原則とする。



## 訓練目標

首都圏直下型地震発生を想定した全国的な救援訓練を行い、協働型災害ボランティアセンター機能を確認し、人材を育成する。

## 訓練内容

- ・被災地講演
- ・パネルディスカッション&活動披露
- ・避難所ワークショップ&交流会
- ・ICSの適用および訓練  
標準化、応援部隊との調整、行政との連携等
- ・DIG(図上災害訓練)を活用した指揮・情報収集
- ・GISによる災害情報の共有
- ・コミュニティ活動支援ファンド
- ・自家用ヘリコプター運用・離着陸
- ・災害救助犬運用
- ・市民救助隊によるトリアージ
- ・MozillaBus運用(ICT環境整備)
- ・災害弱者対策
- ・炊き出し
- ・住民ディレクターによる情報の空白域の取材
- ・SNS、FaceBookによる情報共有



## 連携・協働

行政(国、地方公共団体、消防自衛隊、社協等)  
企業・商工団体  
NPO・市民団体  
地縁組織(自治会、民生委員)  
商店街  
労働組合  
生協  
農協・漁協など



日時:平成26年1月24日(金)・25日(土)

場所:①杉戸町すぎとピア

(埼玉県北葛飾郡杉戸町大字堤根4742-1)

②江戸川河川敷スーパー堤防

(埼玉県北葛飾郡杉戸町木津内)

参加人数:300名(想定)

緊急・復興・後方支援  
ネットワーク(別記)

参考HP

<http://kyoujo.nngo.net/>

## 他の地域との連携・協働

首都圏  
富岡町・川内村  
東北地方  
阪神地区など

## センター機能

- ・NPO支援センター  
情報収集、ボランティア受け入れ・訓練、救援チーム出動、炊出し部隊出動、支援物資仕分け、広報、記録、後方支援
- ・被災地NPOとの連携
- ・他の主体との連絡、調整
- ・財務:ファンドからの資金助成
- ・人材育成・訓練(ICS、DIG、市民救助隊)
- ・中間支援(被災者・避難者団体、アンテナ・チャレンジショップ)
- ・市民団体の防災ネットワーク形成
- ・相談・交流会・カウンセリング、情報収集、心のケア等の生活支援

## プロジェクトリーダー

委員長 松尾 道夫(NPO法人NPO埼玉ネット代表理事)

副委員長 後藤 真太郎(立正大学地球環境科学部環境システム学科教授)

事務局長 豊島 亮介(NPO法人すぎとSOHOクラブ副理事長)

## 協議会参加団体

杉戸町

川内村

富岡町

NPO法人NPO埼玉ネット

NPO法人 すぎとSOHOクラブ

国土交通省広域地方政策課(オブザーバー)

三菱総合研究所(オブザーバー)

## 緊急・復興支援NPOネットワーク(専門分野)

- ・市民キャビネット災害支援部会(指揮、仕分け、輸送、記録、広報、募金、チェーンソー隊等)
- ・市民キャビネットスマートICT部会(情報分野)
- ・全日本救助犬団体協議会(災害救助犬、セラピー犬:沖縄、九州、阪神、関東、北海道の災害救助犬5団体が参加)
- ・NPO法人市民航空災害支援センター(自家用ヘリコプターの運用)
- ・市民救助隊(CommunityFirstResponder:熊丸由布治隊長:在日米軍消防)
- ・被災地NGO協働センター
- ・一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会((自家用モーターボートの運用)
- ・NPO法人キャンパー(避難者用キャンピングカー、トイレトカー、炊き出し)
- ・NPO法人埼玉県キャンプ協会(炊き出し)
- ・NPO法人ニッポン・アクティブ・ライフクラブ(炊き出し)
- ・NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)
- ・NPO法人NPOレスキューライダーズ
- ・日本災害医療薬剤師学会
- ・東埼玉総合病院
- ・社会福祉法人 堤福社会
- ・NPO法人市民福祉団体全国協議会
- ・日本社会福祉事業協会
- ・NPO法人日本ケアフィットサービス協会
- ・NPO法人日本ファーストエイドソサエティ
- ・すまいるFM76.7MHz
- ・かわうち放送局
- ・FM西東京
- ・調布市市民放送局
- ・FM越谷
- ・日本トイレ研究所
- ・NPO法人GISパートナーシップ
- ・NPO法人基盤地図情報活用研究会
- ・NPO法人NRDA(Natural Resource Damage Assessment)アジア

## 緊急・復興支援NPOネットワーク(地域分野)

- ・GANBARO ↑ MIYAGI / 宮城復興支援センター(被災者支援)
- ・3.11NPO+(MMIX Lab)(アートインクルージョン)
- ・東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト
- ・NPO法人遠野まごころネット
- ・一般社団法人 SAVE IWATE
- ・[NPO連携]福島復興支援センター
- ・NPO法人川内村NPO協働センター
- ・NPO法人表郷ボランティアネットワーク
- ・カット倶楽部
- ・いたばし総合ボランティアセンター
- ・福島県避難者連絡会杉戸元気会
- ・南会津と世田谷を結ぶ会
- ・一般社団法人奈良県新しい公共訓練校
- ・SSネットまつぶし
- ・羽咋市市民活動支援センター
- ・桐生災害支援ボランティアセンター
- ・NPO法人NPO埼玉ネット
- ・NPO法人 すぎとSOHOクラブ

## 後方支援ネットワーク

- ・NPO法人NPO埼玉ネット
- ・NPOすぎとSOHOクラブ
- ・NPO法人国境なき楽団(つばさ号キャラバン)
- ・NPO法人富士山クラブ
- ・NPO法人ワーク埼玉(障害者支援)
- ・元気スタンド ぷリズム(コミュニティカフェ)
- ・NPO法人たすけあい伊奈
- ・CODEforJAPAN
- ・NPO法人フリーマーケット主催団体協議会
- ・NPO法人ドリームスカイ ユニオン(音響PA)
- ・NPO法人日本トリム体操協会(健康増進)
- ・NPO法人グリーンフォーレストジャパン
- ・NPO法人まち研究工房
- ・NPO法人埼玉就業支援システム(就業支援)
- ・NPO法人SRC(就業支援)
- ・NPO法人地域文化R&Dプロジェクト
- ・一般財団法人日本太鼓協会(イベント)

## 大学・研究機関

- ・立正大学地球環境科学部環境システム学科
- ・岩手医科大学
- ・明星大学人文学部
- ・立教大学 コミュニティ福祉学研究科
- ・埼玉県GIS普及推進研究会
- ・放送大学文化科学研究科

## 企業・労働組合・生協

- ・連合
- ・一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会
- ・医療生協さいたま生活協同組合
- ・東京ふれあい医療生活協同組合
- ・業務スーパー(株式会社神戸物産)
- ・ラッシュ・ジャパン株式会社
- ・コープみらい(呼びかけ予定)

## マスコミ

- ・朝日新聞社
- ・読売新聞社
- ・毎日新聞社
- ・埼玉新聞社
- ・福島民報新聞社
- ・福島民友新聞社
- ・環境農業新聞社
- ・NHK
- ・テレビ埼玉

※宿泊体験取材を要請

## 行政・地縁団体(視察)

- ・国土交通省広域地方政策課
- ・内閣府災害対策法制企画室
- ・自衛隊(呼びかけ予定)
- ・在日米陸軍消防
- ・埼玉県消防防災課
- ・埼玉県県民生活部共助社会づくり課
- ・福島県文化振興課
- ・杉戸町
- ・富岡町
- ・川内村
- ・八潮市交通防災課
- ・双葉地方広域市町村圏組合消防本部
- ・杉戸町広域消防署
- ・川内村観光協会
- ・国際ロータリー2760地区(愛知)

## 行政・地縁団体(訓練参加)

- ・在日米陸軍消防(講師派遣)
- ・杉戸町消防団、自主防災団体(自治会)
- ・杉戸町商工会青年部
- ・日進親和会
- ・川内村商工会
- ・東日本大震災避難者団体
- ・青年会議所
- ・医師会
- ・ライオンズクラブ
- ・ロータリークラブ

## 会場①選定の経緯

- 1、埼玉県杉戸町は福島県富岡町と友好都市を東日本大震災発生から4ヶ月前に締結した。
- 2、震災発生直後、富岡町民が避難する川内村へNPO法人すぎとSOHOクラブが駆けつけ、1000食分の炊き出しを行った。
- 3、それから程なく、杉戸町が連携して幸手市・宮代町と共同で240名の避難者の受け入れを行った。
- 4、杉戸町では「すぎとピア(60名収容)」「エコ・スポいずみ(50名収容)」が半年の間、避難所として提供された。
- 5、実際に避難所として利用された施設を使用してICS・DIGや避難所宿泊体験を行うことで震災の経験を生かした訓練を行うことができる。

## 会場②選定の理由

- 1、江戸川河川敷スーパー堤防の有効利用方法が検討されている。
- 2、これまでに川の駅拠点・100kmマラソン給水所など活用実験が行われている。
- 3、実際に協働型災害訓練を行うことで地域防災拠点としての活用が可能になる。

## 杉戸町を使つての訓練の狙い

- 1、杉戸町は都心から30kmの距離にあり、首都圏直下型地震発生時における救援拠点として機能できる
- 2、上記の理由により、全国から参集する各支援団体の第一次待機拠点として機能できる
- 3、首都圏直下型地震発生時に道路等の交通網が寸断されている場合でも、空及び河川を使用して都心への救援活動が可能である
- 4、首都圏救援を行う協働型災害ボランティアセンターとして機能することが可能である

## 協働型災害訓練の狙い

- 1、被災地行政の経験を生かし、首都圏直下型地震発生を想定した救援訓練を行う
- 2、より実現性のある救援訓練とするため、行政担当者と全国的支援団体を参集して救援訓練を行う
- 3、杉戸町における首都圏直下型地震発生時の協働型災害ボランティアセンター機能を確認する
- 4、首都圏直下型地震発生時に対応する協働型災害ボランティアセンターで活動する人材を育成する

## リーダー育成

- 1、情報伝達のあり方(事実の報告:2次情報(また聞き)は確認)
- 2、パニックに陥らない(怒ならない:リーダーとして冷静に対処する)

## 協働型災害訓練実施研究会の設置

- 1、具体的な訓練実施計画の策定

## 協働型災害訓練の数学的アプローチ

	ICS	数学
1	標準化(共通化)	定義
2	重要実施事項(共有化)	定理
3	訓練実証	証明
4	発災時活用・実施	応用

※訓練実証を事前に行うことで、重要実施事項を確認し、発災時活用・実施が迅速にできる。

### 訓練部門の役割(別紙組織図参照)

#### 【本部】

- ・首都圏災害発生を想定
- ・首都圏から40kmに位置する杉戸町に協働型災害訓練本部を立てる
- ・内外から集まる団体を統制し、首都圏災害を支援する

#### 【部門】

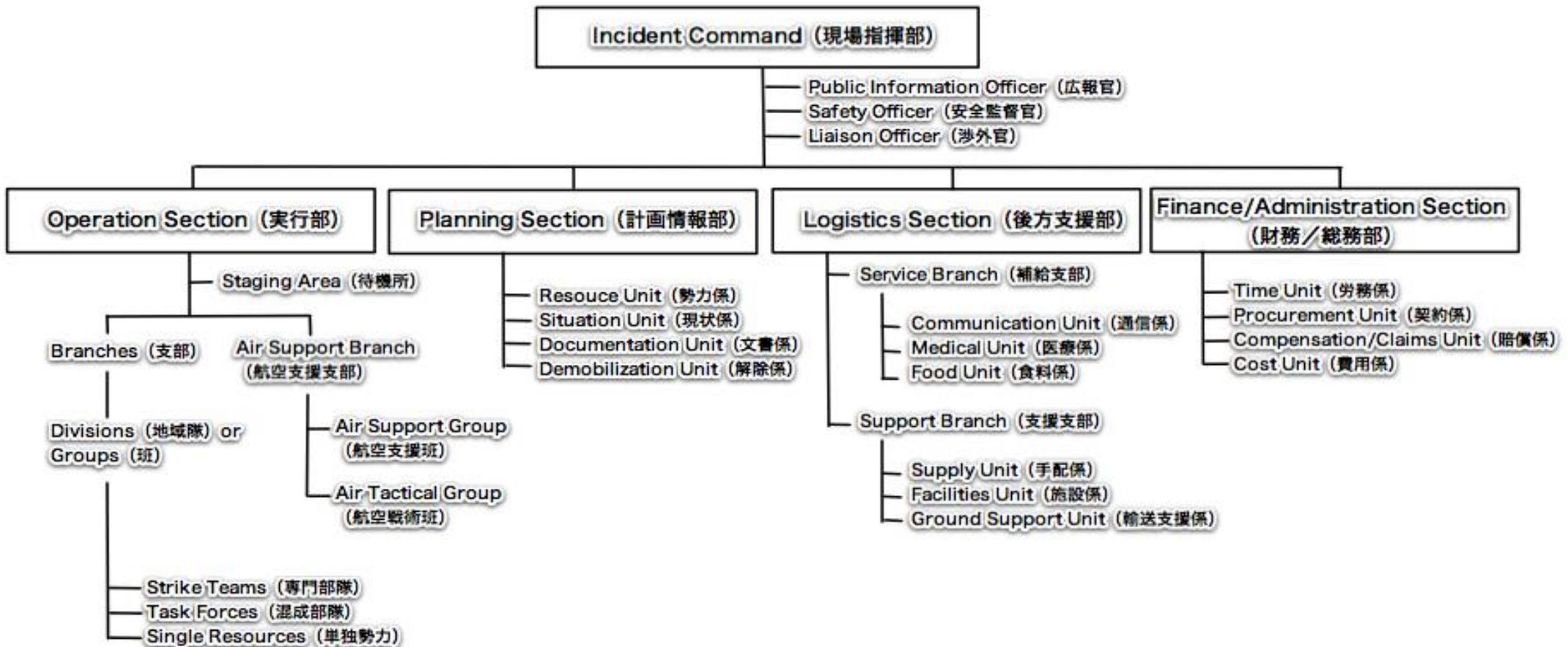
- ・部門や班の目的を決める
- ・チェックリストを作る
- ・アクションプログラムを作る

#### 【訓練スケジュール】

- ・シナリオに沿った行動を想定する
- ・全体での組織調整を行う

※全体会議を何回も重ねる必要がある

- ・首都圏災害を想定したシナリオに沿った各部門からの行動発表(DIGを併用)
- ・一部の訓練や作業を実際に行う
- ・首都圏災害のシナリオを作成
- ・シナリオに対応する組織図に変更
- ・当日集合する各団体の能力に応じた配置に変更する



**訓練スケジュール(一部変更の場合あり)**  
参加者全員に白のジャケットを無料で配布します。

※朝食500円、昼食500円、夕食1000円は自己負担とする。  
※所属団体のユニフォーム着用は許可する。  
※班長以上の役員は市民キャビネット災害支援部会(黄色)のユニフォームを着用しています。

**24日(金) すぎとピア(東武動物公園東口徒歩30分)**

8:00-9:00 東武動物公園東口より送迎車(車体に掲示)3台運行  
8:30 すぎとピア、参加者集合、随時受付  
9:00 セレモニー(杉戸町挨拶、事務局説明、参加者紹介)  
9:30 ICS・DIG(実行部・計画情報部・後方支援部・財務/総務部に  
分かれた図上災害訓練)  
12:30 昼食交流会へ移動  
13:30 パネルディスカッションA  
～東日本大震災、その時何が起きたか?～(講演とトーク)  
記念講演:遠藤雄幸川内村長  
パネラー:杉戸町、川内村、市民キャビネット災害支援部会  
司会:立正大学・後藤真太郎教授  
15:45 パネルディスカッションB  
～先進事例に学ぶ、そのときどうすべきか?～(講演とトーク)  
事例発表:東埼玉総合病院、コミュニティFM、地域防災、  
パネラー:明星大学・天野徹教授、宮城教育大・村上准教授  
立正大学・後藤真太郎教授  
司会:東埼玉総合病院・中野智紀医師  
17:30 紹介:各参加団体  
18:00 閉会・避難所ワークショップ・東武動物公園へ移動(送迎車(車体に掲示))  
19:00 夕食・入浴・交流会、就寝(ふれあいセンターエコ・スポいずみ:暖房はありま  
すが、寝袋・毛布、洗面道具等持参ください)

**24日(金) スーパー堤防**

(一部を残し、すぎとピアで訓練)

**25日(土) ふれあいセンターエコ・スポいずみ**

7:00 起床、朝食  
8:00 スーパー堤防へ移動  
10:30 炊き出し訓練(昼食準備)  
10:40 トリアージ訓練(米陸軍消防・熊丸市民救助隊(CFR)隊長)  
12:30 昼食交流会  
13:30 パネルディスカッションC(講演とトーク)  
～東日本大震災で導入されたICS、その報告と可能性～  
記念講演:岩手医科大学・秋富慎司助教  
パネラー:市民キャビネット・池本修悟事務局長  
司会:事務局・豊島亮介  
14:45 災害出動訓練(市民キャビネット災害支援部会・山中訓練担当)  
15:15 セッショントーク、参加者紹介、成果発表・提言  
16:00 閉会式(挨拶、記念撮影)東武動物公園へ移動(送迎車(車体に掲示))

**25日(土) スーパー堤防**

8:00-9:00 東武動物公園東口より送迎車(車体に掲示)3台運行  
8:00 スーパー堤防集合  
8:10 野外本部設営、ステージ、仮設・テント等設営  
9:30 セレモニー(挨拶、説明、紹介)  
事務局説明(首都圏直下型地震想定時系列訓練説明)  
10:00 ヘリコプター情報収集離着陸(市民救助隊、医療チーム)  
ヘリコプター移送離着陸(災害救助犬)  
10:30 ボランティア訓練者はヘリ訓練見学後エコ・スポいずみへ移動  
ヘリコプター移送離着陸訓練  
12:30 エコ・スポいずみへ移動

(一部を残し、エコ・スポいずみで訓練)